●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

↑ 注 意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定 されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

A 注 意

※製品の破損および落下のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

■取付け上の注意

●設置条件

・本製品は一般住宅の1階取付け用です。それ以外には取付けないでください。

●取付けについて

- ・取付けは専門業者が行ってください。
- ・みだりに改造、変更をしないでください。
- ・当社指定の付属品以外は取付けないでください。

●部材の固定

・組立てねじ、ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中緩まないように締付けてく ださい。

●絶縁処理

アルミ形材が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触するときは絶縁処理をしてください。

■取付け上のお願い

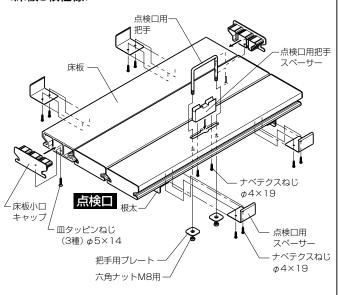
- ●本製品は、木粉入りポリエチレン樹脂でできております。 熱によって変形することがありますので取扱いに注意してください。
- ●立てかけて保管しないで、平らな場所に保管してください。
- ●暖房機、たき火近くの高温になる場所には保管しないでください。
- ●製品の上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- ●給油機、暖房機などの熱排気が製品に直接あたらないようにしてください。
- ●人工木材は産業廃棄物として処理してください。
- ●組立て・施工中についた表面の汚れやシミは、引渡し前に水洗いして落と してください。うすめた中性洗剤を使用した場合は、使用後洗剤が製品表 面に残らないよう十分水で洗い流してください。

■取付け時の留意点

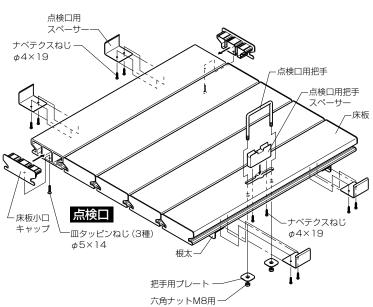
- ●材料の変形、破損の原因になりますので下記事 項はしないでください。
- ・点検口の縦切断はしないでください。
- ・点検口の調整は床板枚数単位で行ってください。
- ※調整単位:140mm(床幅135mm+目地5mm)

■構造説明図

<床板3枚仕様>



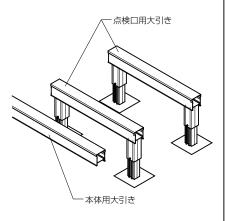
<床板5枚仕様>



※本取付け図は5枚仕様を示します。3枚仕様も組立て・設置方法は同じです。

■取付け順序

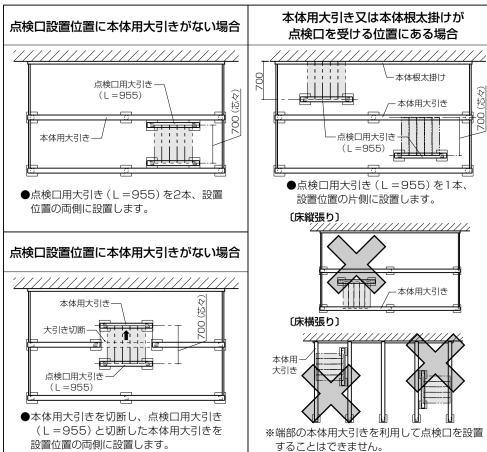
11大引きの設置



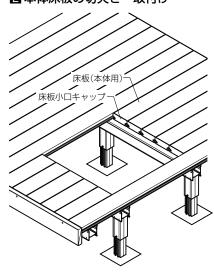
■取付け詳細

■大引きの設置

●点検口、デッキ本体の床板を受けるために大引きを設置します。



2本体床板の切欠き・取付け

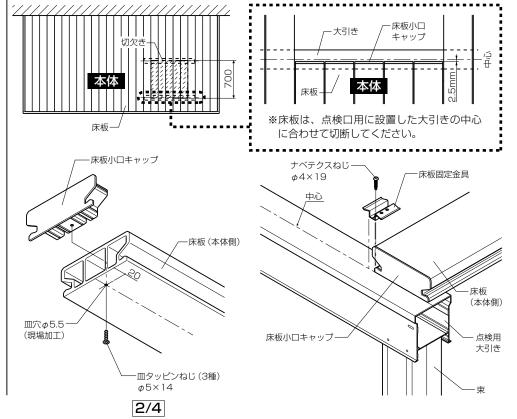


2本体床板の切欠き・取付け

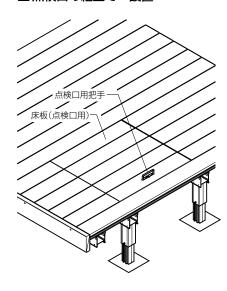
①点検口設置位置の床板5枚(3枚仕様の場合は床板3枚)をL=700に切欠きます。

②床板小口に床板小口キャップを取付けます。

③床板を床板固定金具で点検口用大引きに固定します。

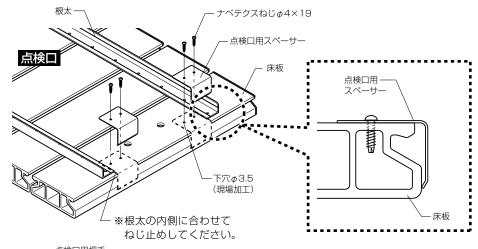


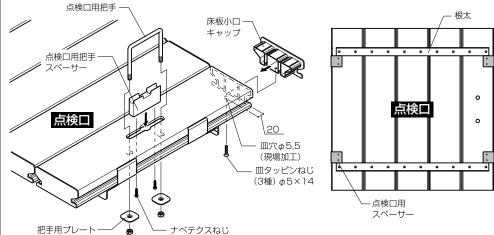
3 点検口の組立て・設置



3点検口の組立て・設置

- ①点検口の4カ所に点検口用スペーサーをねじ止めします。
- %ねじ止めする際は ϕ 3.5の下穴をあけてください。
- ②点検口両端に床板小口キャップを取付けます。
- ③点検口用把手取付け部に点検口用把手スペーサーを取付け、反対側からねじ止めしてください。
- ④点検口用把手を床板に入れ、把手用プレートを奥まで締込んだ後、六角ナットM8用で締付けます。





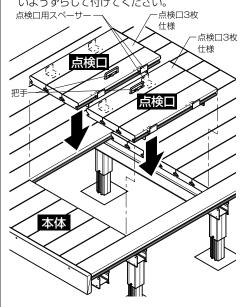
φ4×19

床板小口 キャップ 点検口 本体

六角ナットM8用-

■大きな開口を取る場合

- ※床板5枚以上の大きな開口を取りたい場合は、 組合わせることもできます。その際は、下記2 点に注意してください。
- ●点検口に用いる大引きは、点検口がのるサイズ の物を設置してください。
- ●点検口用スペーサーは、下図のように干渉しないようずらして付けてください。



■納まり参考図 ●点検口平面図 <床板5枚仕様> <床板3枚仕様> 67.5 床板(中間) 床板(中間) :135 5 : 135 ●A-A断面図 695 <床板3枚・5枚仕様共通> 2.5 2.5 床板~把手すき間:35 (把手使用時) 100 12.5 把手内々寸法 : 92 1 2 2 30 60 大引き: 95 ₩ 点検口用 点検口用把手 把手用プレート 大引き:85 六角ナットM8用 調整束 : 66 695 ●B-B断面図 5 床板(中間):135 5 ⊕ ② ⊕ ●C-C断面図 5 床板(中間):135 5 • 🔾 • • 🔾 •

4/4